



Ryu愛スポーツ

カテゴリ 人材育成

スポーツの健全な発展を通して、大好きな沖縄に貢献!

代表の渡名喜さんは、県外の大学で野球部のキャッチャーとして活躍していたが、肘のケガでプロを目指すことを断念。沖縄に戻り、現在は琉球大学に籍を置いている。自身のケガにより、身体のケアや過剰な負荷をかけるトレーニングの重要性を痛感し、同じ思いを抱く理学療法士の友人と共に任意団体を立ち上げた。地域スポーツの健全な発展を通して沖縄に貢献したい!という情熱をカタチにするべく、指導者向けの勉強会とスポーツ塾の運営に係る活動に精力的に取り組んでいる。

一部の強豪校は別だが、部活動や地域スポーツの指導者が、身体やトレーニングに対する専門知識を持っているかということ、現状はなかなか難しく県外との情報格差を実感してきた。沖縄でも多くの指導者に正しい知識を普及させ、その価値を周知していくこと。そして、ジュニアアスリートが自らの身体と向き合いスポーツに取り組める環境を作ること。この2つの目標実現を目指し、トレーニング理論と方法を学ぶ指導者向け勉強会と、母校での

ボランティアと実践を兼ねたジュニアアスリート向けスポーツ塾を定期的開催している。開催にあたっては、プロやメジャーで経験を積み、今でも繋がっている心強い仲間の協力も得ているようだ。

活動も2年目を迎え、勉強会に当初から参加したメンバーの多くが社会人となり、それぞれの持ち場で影響力を発揮することが今後期待されている。

また、現状ボランティアでの活動となっているが、勉強会予算の確保や、講師への適正な謝礼金など、持続可能な運営の仕組みを作ることが次のステップだという。「仲間と共に、スポーツを通して日本や世界と戦える力を持った沖縄を目指したい!」と、渡名喜さんは熱く語ってくれた。



島尻パーントゥ購買店

住所 宮古島市平良島尻533 TEL 0980-72-5258

カテゴリ 健康・福祉／観光・地域交流

購買店を起点に、地域一丸となった活性化への取り組み

転機が訪れたのは、2018年～の3年間、“購買店を中心とした地域活性化につながる仕組み作り”をミッションに活動した地域おこし協力隊の井上さんが来てからだろう。当初、購買店の運営母体は自治会が担っていたため、ここに注力できる人材が不足していた。そんな中、着任した井上さんは、「まずは、私1人でもできることから始めてみよう。」と、集落内の地図を作成。道に迷う観光客の姿をよく目にしていたからだ。また、うまくPRできれば、観光客にも購買店を利用してもらえるかもしれない、との考えもあった。併せて、看板を作り、SNSでも発信してみると、少しずつ来店が増え始めた。そしてこの頃から、井上さんの取り組みが地域住民に認知され、徐々に信頼関係が構築されていったという。

それからは、パーントゥ(厄払いの来訪神)をモチーフにしたTシャツをデザインしたり、購買店の一角に食事スペースを作ったり。地域のためになると思ったことは積極的に動き、その結果、地域の協力もスムーズに得られて形

になっていった。食事スペースはその後、軽食を提供する食堂にまで発展したそうだが、開店直後は「地域にこんなに人がいたのか。」と驚くほどお客さんが押し寄せ、てんてこまいな状況だったそう。

また、地域のハブ的な役割も担っているため、いつもの時間に来店しないおじい・おばあがいれば状況を確認しに行くなど、見守りとしての機能も果たしてきたという。

今後は、買い物に不便な近隣地域へ移動販売の協力や、隣の集落にある購買店との連携も模索されているそう。家の冷蔵庫代わりのように日に何度も来店するおばあのためにも、購買店を起点とした、よりよい地域作りが期待されている。

